

Mirai研レポート

国際的な教育プログラムを研究する高校

具体的には私は何を？

前回のレポートで「3つのプロジェクトを進める」ことをお伝えしました。

では、具体的に皆さんに何をして頂くのか担当ごとに簡潔にまとめました。基本的に**どれか一つ以上に関わって頂きたい**と思います。

「主に」関わる職員を記載しましたが興味のあるものがあればぜひ共に研究してほしいと思います。係へ声をかけて下さい。

『国際的な教育プログラムを研究する高校』

県立高校「未来の学校」実践校に指定されました（令和2～6年）

国際的な教育プログラムについて研究し、国際社会で活躍できる資質・能力を育成する教育課程を開発するとともに、海外大学進学希望者のためのプログラムを構築することを目標にしています。

- ・国際社会で活躍できる資質や能力の育成
- ・新たな時代における「生徒につけたい力」の明確化
- ・新たな学びの指導・評価方法の開発と共有
- ・海外進学支援体制等、幅広い進路選択への対応



「F-教育課程」担当：清水

主に関わる職員

1学年担任団

主にやること

- ・ユニットプランナーをもとに単元指導案を作成し授業準備を行う（9月）
- ・授業実践（10月・11月）

「F-学習指導」担当：小松

主に関わる職員

2学年教科担当

主にやること

- ・単元指導案を作成し授業準備を行う（7～9月）
- ・実践と振り返り（10～12月）

「F-留学指導」担当：山田

主に関わる職員

担任、国社英職員、進路係、国際教養科運営委員

主にやること

- ・海外大学進学を目指す生徒向けの新学校設定科目「アカデミックスキル」「世界の中の日本」のカリキュラム作成
- ・生徒および職員を対象とした留学講座の案内・企画実施
- ・海外語学研修における留学希望者コースの検討

F-留学指導 活動報告

・4月13日（火）全校生徒アンケートの実施
「海外大学進学に関心がある」生徒**44名**（1年**21名**，2年**17名**，3年**6名** / 普通科**18名**，国際科**26名**）

⇒ Google Classroom “F-Style Study Abroad”立ち上げ

・5月18日（火）マレーシア大学進学セミナーを本校で企画し実施

マレーシアの大学進学のメリットと、指定校推薦枠のある Taylor's Universityについて説明

生徒7名、保護者1名、職員2名が参加

